

創造の森

鶴岡第五中学校 学校だより 校長室より

体育祭開催に向け、生徒・保護者・地域の理解と協力に感謝

2学期始業からコロナ感染症の感染が学校関係者に拡大し、8月31日（水）開催予定の体育祭を1週間延期する判断をしました。しかし、8月29日（月）以降、拡大のピークとなり、学年閉鎖の対応を取りながら感染拡大を食い止めるよう努めてきました。9月2日（金）くらいから、新規感染者の情報が少なくなりある程度の落ち着きが見られたところで、通常の延期日として予定していた9月8日（木）に実施することに判断しました。

内容と生徒の参加枠を大幅に変更して実施したわけですが、生徒はその判断の中でもそれぞれの役割や競技に全力で取り組み、真剣に体育祭に参加してくれました。また、保護者の参観も3年生のみという心苦しい判断でしたが、お陰様で、会場全体を密にしないように管理し、生徒の状況把握に集中し、その都度判断しながら体育祭を執り行うことができました。そのような中で、全校で20人近くの生徒が出席停止で参加できない状況でした。感染拡大のこの状況下で致し方ないという反面、楽しみにしていた生徒・保護者の皆様には申し訳なく感じています。今後の様々な教育活動や合唱祭等で思いや力を発揮できる場を持てるよう取り組んでいきたいと思えます。大きな判断には必ず賛否はあるものと思いながらも、体育祭を通して「生徒が躍動する姿」を発揮・表現する場を準備できたことに喜びを感じています。この度の、生徒・保護者・地域の皆様方のご理解とご協力に感謝するとともに、今後とも本校の教育活動にご支援を賜りますようお願いいたします。

2学期の始業にあたり 生徒の皆さんに期待すること〔始業式の校長の話《抜粋》〕

『2学期は、1年間で最も長い学期です。1学期につくった土台の上に、様々な取組を通して成長し、大きく成果を上げていくことが求められる学期です。日々の学習の充実はもちろん、様々な行事や活動を通して、一人一人が自分の良さや持ち味を発揮し、チャンスを逃すことなく、自分自身、学級・学年、そして学校全体を成長させてほしい。…

…あなた一人の成長が、学校・学年・学級の成長につながることを、そして、あなたが良くなることで学校・学年・学級はもちろん、周りの人を良くしたり、幸せにしたりするかもしれないことを自覚してほしいと思っています。自分自身で自分の成長、そして良くなったかどうかを自覚するには、授業やその活動に臨む前に必ず目標や心構えを明確にすること、そして、その授業や活動はどうであったか、必ず自己評価をすること、さらにそこで得た反省を次の授業や活動に生かすことが大切です。そうした取組を1日1日積み重ねていくようにしてほしい…。

3年生は、五中の最上級生として1・2年生をリードし五中の歴史26ページ目をしっかり描ききり、自分自身の力で進路を実現すること、2年生は、五中を引き継ぐ覚悟を持つこと、1年生は、後輩を迎え入れる心構えを持つこと、それぞれの学年にとってとても重要な2学期を過ごします。進路のことを考えるのは3年生だけではありません。1・2年生も1年後・2年後のために自主的に計画的に学習することが必要です。1日1日がとても大切です。自分自身を見つめ直し、学習や生活の充実のため、そして「あたたかく、一生懸命な学校づくり」のため丁寧なまじめに取り組んでください。』

体育祭は3年生に望む姿の具現の場になりました。2年生・1年生も3年生の姿を見てこれからの「自分たちの姿」を思い描いたはずです。どの学年も次のステップに堂々と進んでほしいと思えます。(2022.9.9 文責 校長)